i Cubed Systems

2027年6月期 第1四半期 決算補足説明資料

株式会社アイキューブドシステムズ（東証グロース: 4495）

2026年11月10日

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

目次

01. サマリー

02. 2027年6月期 第1四半期 業績報告

参考資料

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

01 | サマリー

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

2027年6月期 第1四半期サマリー

CLOMO事業の安定的な成長により、売上高は前年同期比で2桁成長を継続
通期業績予想に対しては、売上高・各段階利益ともに計画通りの進捗

連結売上高	連結営業利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
1,191百万円	365百万円	226百万円
前年同期比 +12.7% ↑	前年同期比 +6.9% ↑	前年同期比 +6.1% ↑

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

02 2027年6月期 第1四半期業績報告

- 単体 -

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

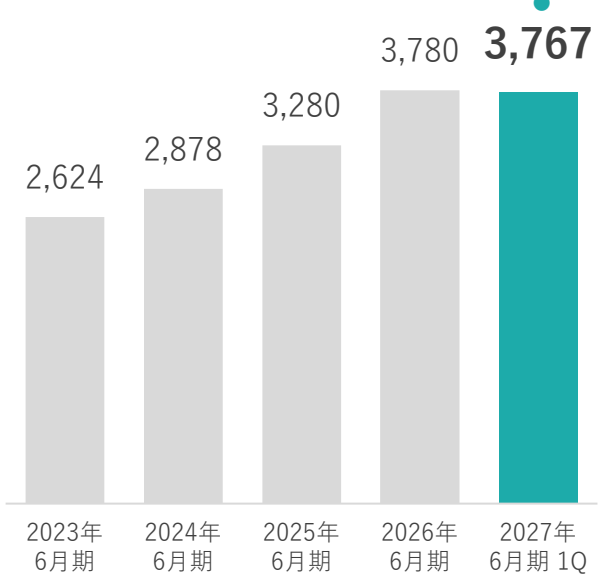
CLOMO事業 主なKPIの状況

ARRは前年同期比＋11.1%成長した一方、一部製品の提供終了等の影響で前期末比では一時的に減少。OEM経由での安定的な顧客獲得により、導入法人数は第1四半期で308社の増加

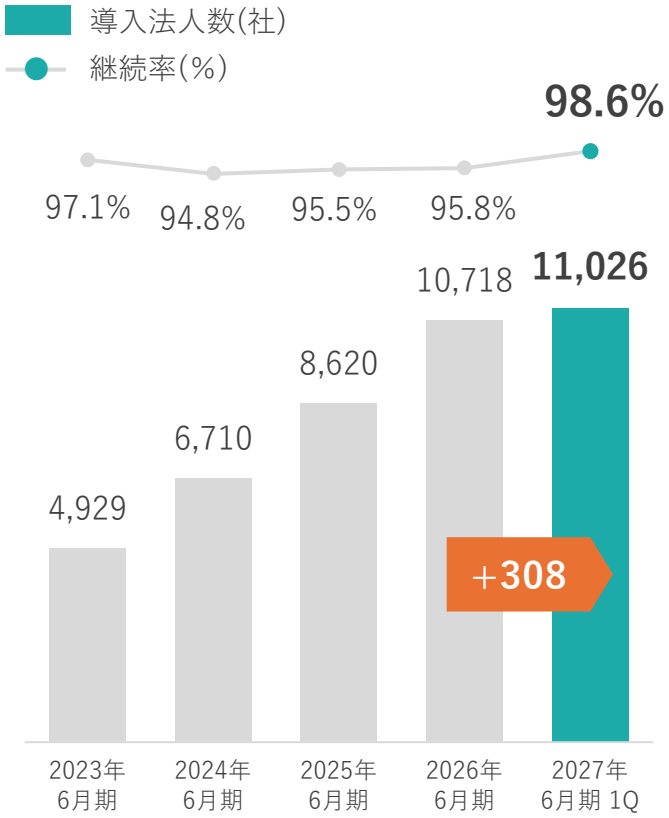
ARR(1)

単位：百万円

他社製オプション製品の提供終了に伴う解約の影響で、前四半期末比で減少。当該影響を除くとARRは安定的な成長を継続

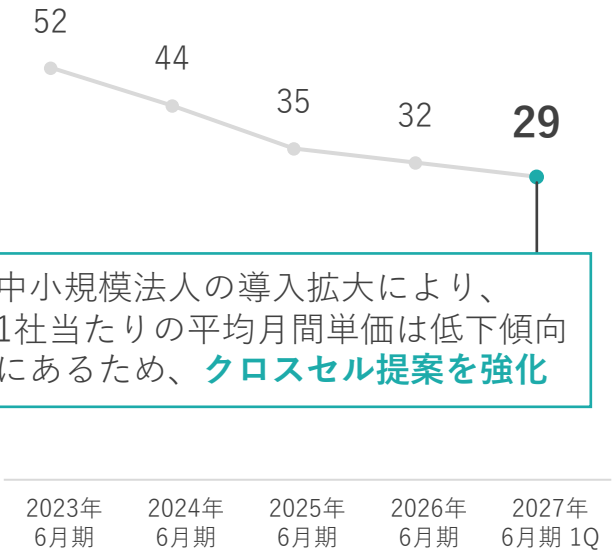


導入法人数・継続率(2)



1社当たり月間単価 (3)

単位：千円



中小規模法人の導入拡大により、1社当たりの平均月間単価は低下傾向にあるため、**クロスセル提案を強化**

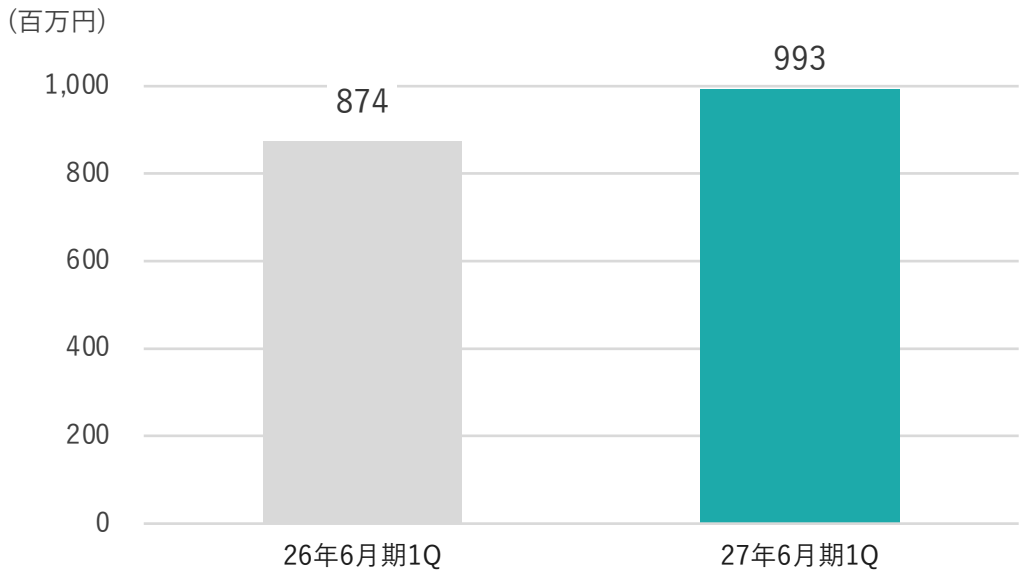
注：
1. Annual Recurring Revenue の略称。各月のMRR（対象月の月末時点の導入法人に係る月額料金の合計額であり、一時費用を除く）を12倍して算出。 / 2. 継続率は、前年同月末ライセンス数から直近12ヶ月の解約数を差し引き、前年同月末ライセンス数で除したもので算出。 / 3. 導入法人数当たりの平均月間単価。各月時点におけるARRの1/12を、当月末時点の導入法人数で除して算出。 / 4. 導入法人数・継続率・1社当たり月間単価の算出には、子会社であるワンビ株式会社が提供するTRUST DELETEの実績は含めておりません。

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

2027年6月期 第1四半期 単体 売上高・営業利益

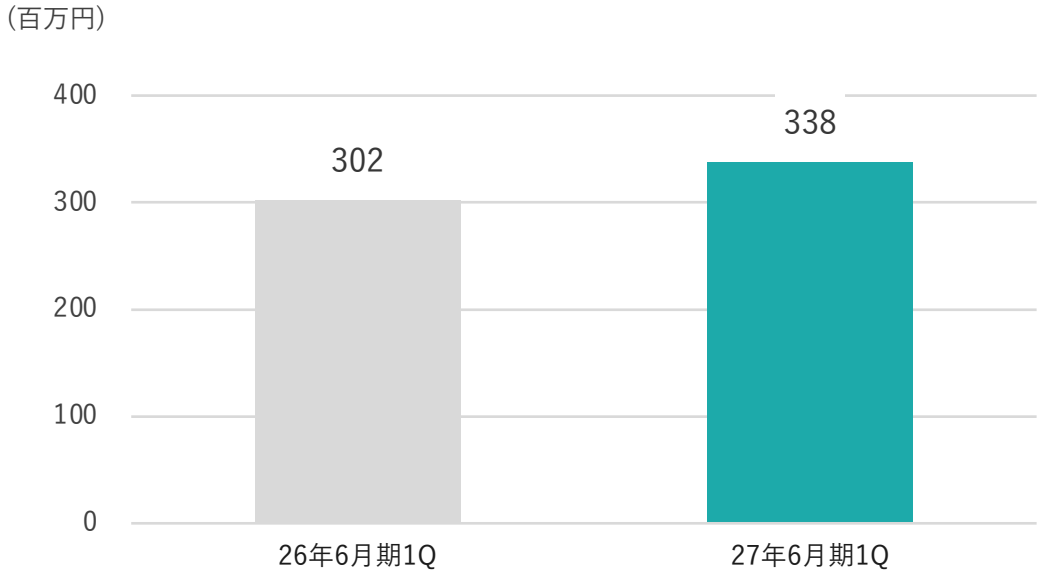
2026年6月期末に獲得したOEM経由の契約が寄与し、売上高は前年同期比 +13.6%
人件費を中心としたコストの増加を売上成長が吸収し、営業利益は前年同期比 +11.9%

売上高



26年6月期1Q	27年6月期1Q	前年同期比
874百万円	993百万円	+13.6% (+118百万円)

営業利益



26年6月期1Q	27年6月期1Q	前年同期比
302百万円	338百万円	+11.9% (+35百万円)

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

02 2027年6月期 第1四半期業績報告

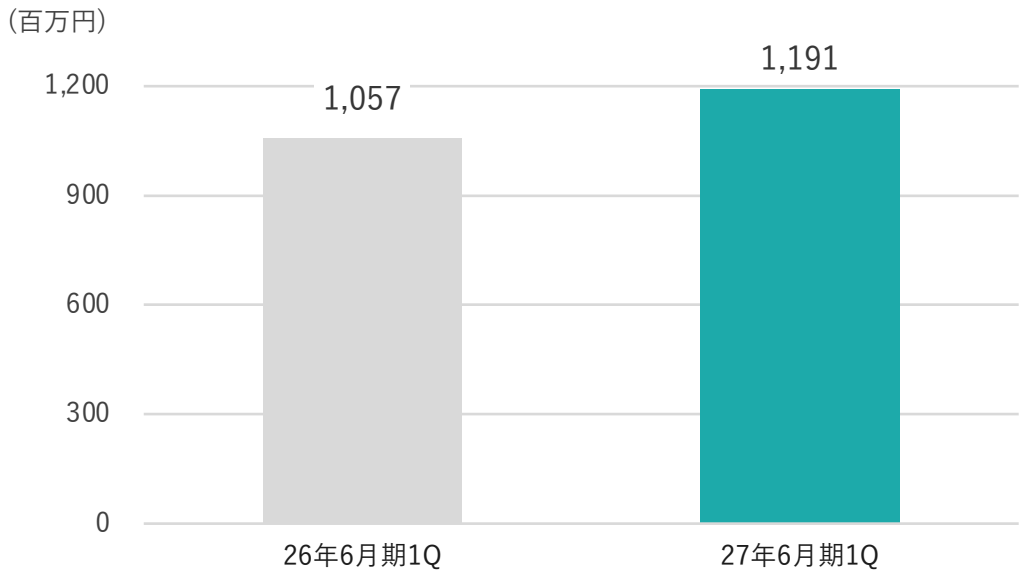
- 連結 -

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

2027年6月期 第1四半期 連結 売上高・営業利益

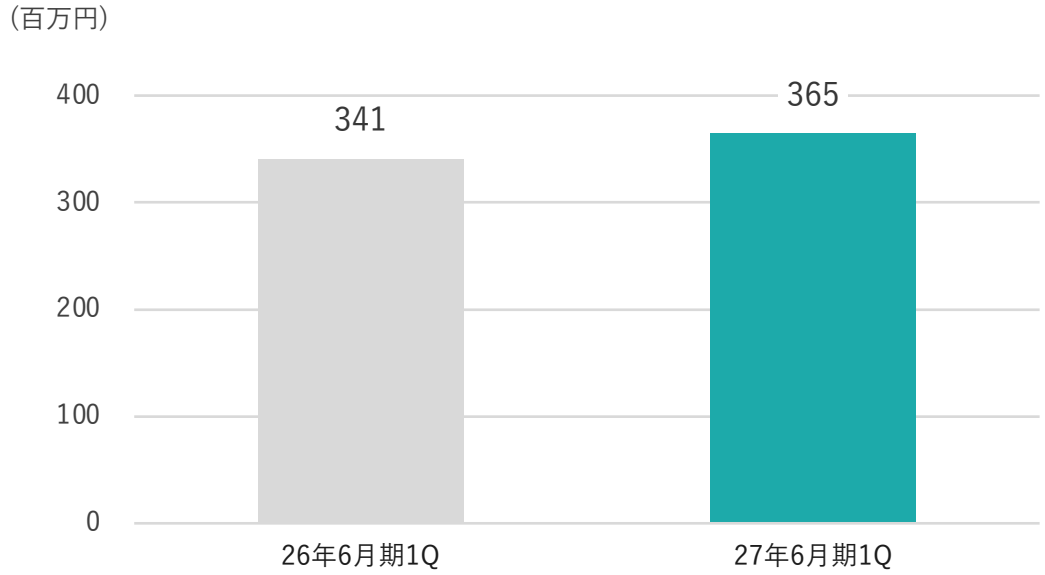
CLOMOサービスの販売拡大に加え、OEM経由の顧客獲得が売上成長を牽引
投資事業では投資先のIPOに伴い株式を一部売却し、売却益及び売却原価を計上

売上高



26年6月期1Q	27年6月期1Q	前年同期比
1,057百万円	1,191百万円	+12.7% (+134百万円)

営業利益



26年6月期1Q	27年6月期1Q	前年同期比
341百万円	365百万円	+6.9% (+23百万円)

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

2027年6月期 第1四半期 連結損益計算書

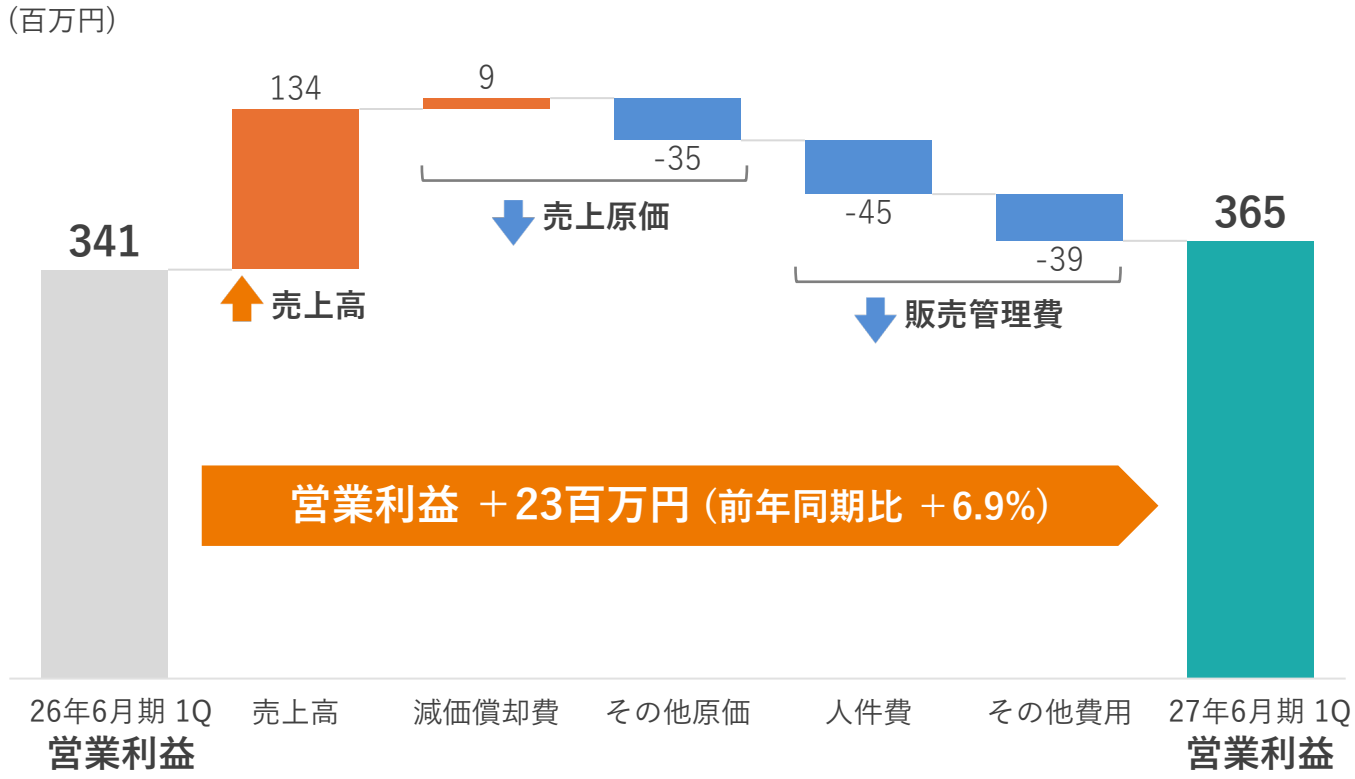
顧客要望による製品改修の優先対応及び投資事業の売却原価計上により、売上原価は増加
人件費や研究開発費など将来の成長に向けた投資を進めつつ、営業利益は前年同期比で増益

(単位：百万円)	26年6月期1Q (構成比)		27年6月期1Q (構成比)		増減額 (増減率)	
売上高	**1,057**	(100.0%)	**1,191**	(100.0%)	**+134**	(+12.7%)
売上原価	**231**	(21.9%)	**257**	(21.6%)	**+26**	(+11.3%)
減価償却費	51	(4.9%)	41	(3.5%)	△9	(△18.6%)
製造経費	89	(8.5%)	111	(9.4%)	+22	(+24.5%)
その他	89	(8.5%)	103	(8.7%)	+13	(+15.4%)
売上総利益	**825**	(78.1%)	**933**	(78.4%)	**+107**	(+13.1%)
販売費及び一般管理費	**483**	(45.8%)	**568**	(47.7%)	**+84**	(+17.4%)
人件費等	287	(27.2%)	333	(28.0%)	+45	(+15.7%)
その他	196	(18.6%)	235	(19.7%)	+39	(+19.9%)
営業利益	**341**	(32.4%)	**365**	(30.7%)	**+23**	(+6.9%)
経常利益	**345**	(32.7%)	**369**	(31.0%)	**+23**	(+6.9%)
親会社株主に帰属する当期純利益	**213**	(20.2%)	**226**	(19.0%)	**+13**	(+6.1%)

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

連結営業利益の増減要因

営業利益は前年同期比で +23百万円の増加、営業利益率は30.7%
顧客定着率向上のための開発や人員増強など、成長投資による費用増を売上成長で吸収



売上高の増加（+134）

・CLOMO事業において、新規顧客獲得によるストック売上の積み上げ及びキッティング等のBPO系オプションサービスの引き合いが増加

・投資事業においてIPOした投資先株式の一部売却による売却益を計上

売上原価の増加（△26）

・ソフトウェアのリリースタイミングの影響で減価償却費が減少

・顧客からの要望に応じ一部の軽微な改修を優先的に実施した影響で製造経費が増加

販売費及び一般管理費の増加（△84）

・人員増強に伴い人材採用費及び人件費が増加

・技術調査に伴う研究開発費が増加

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

連結貸借対照表

事業拡大に伴う利益の積み上がりにより純資産は増加し、自己資本比率は62.7%と高い財務健全性を維持

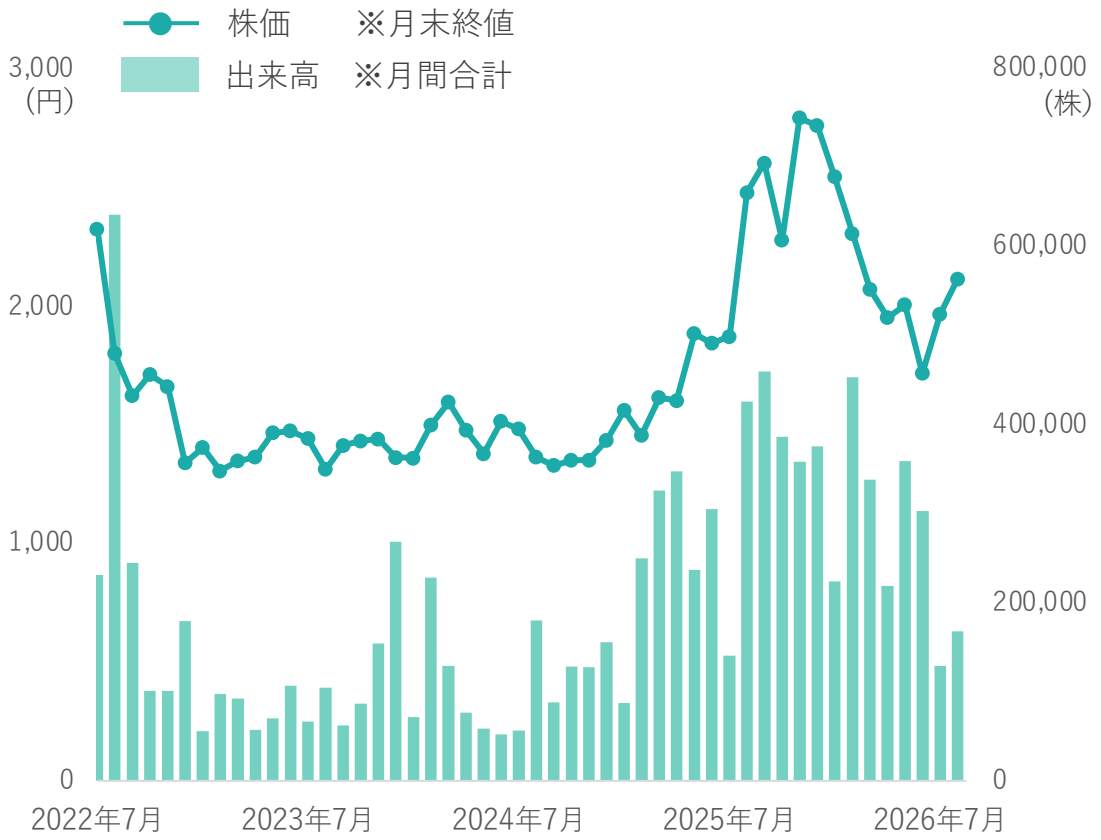
(単位：百万円)	26年6月期	27年6月期1Q	前期末比
流動資産	**3,721**	**3,542**	**△179**
現金及び預金	2,925	2,674	△251
売掛金	497	503	+5
営業投資有価証券	176	263	+87
固定資産	**1,465**	**1,512**	**+47**
ソフトウエア	131	141	+9
ソフトウエア仮勘定	206	224	+17
資産合計	**5,186**	**5,054**	**△132**
流動負債	**1,713**	**1,437**	**△275**
契約負債	864	865	+1
固定負債	**86**	**85**	**△1**
負債合計	**1,800**	**1,523**	**△276**
純資産合計	**3,386**	**3,530**	**+144**

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

株式情報及び株主還元

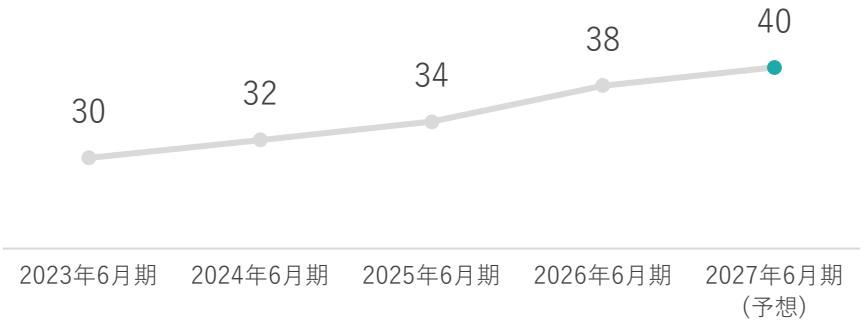
IRセミナーへの参加など認知度向上への施策を継続し、流動性の改善に取り組む
成長戦略の実現と株主還元の両立を通じて、中長期的な企業価値向上を目指す

株価/出来高の推移



株主還元施策

配当の推移（円）



株主優待

デジタルギフトを贈呈

100株以上保有　**1,000円（年2回）**
300株以上保有　**5,000円（年2回）**

対象となる主な交換先は次の通りです。
Amazon ギフトカード / QUOカードPay / PayPayポイント / dポイント
au PAY ギフトカード / Pontaポイント コード / nanacoギフト / Apple Gift Card
EdyギフトID / Google Play ギフトコード / 楽天ポイント / 他、複数

※交換先は変更の可能性がございます。一部ギフトは交換レートが異なります。

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

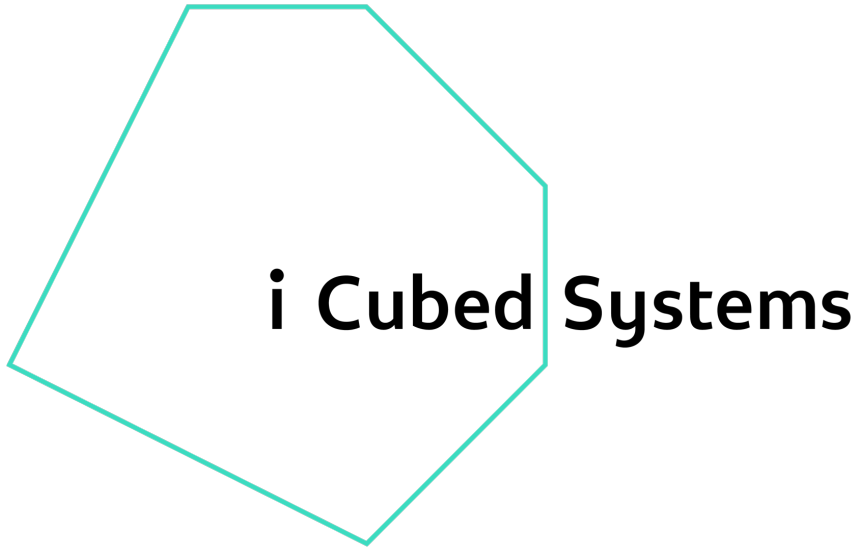
参考資料

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

会社概要

会社名	株式会社アイキューブドシステムズ
所在地	福岡本社：福岡県福岡市中央区天神4-1-37 第1明星ビル 東京本社：東京都港区浜松町1-27-16 浜松町DSビル 営業拠点：札幌市／仙台市／名古屋市／大阪市／広島市
設立／資本金	設立：2001年9月／資本金：417百万円（単体）
代表者	代表取締役執行役員社長 CEO　佐々木 勉
従業員数	153名（単体）／221名（連結）
事業内容	CLOMO事業／投資事業
パートナー	Apple Consultants Network Member Android Enterprise Gold Partner Microsoft AI Cloud Partner
グループ会社	株式会社アイキューブドベンチャーズ ワンビ株式会社 10KN COMPANY LIMITED（ベトナム）

※2026年6月30日時点の情報です。



Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

企業がもっと安心・安全にモバイル端末を使える環境を提供

当社の主力製品である「CLOMO MDM」は、企業・学校・病院・行政機関などで業務利用されるモバイル端末をまとめて管理・運用するためのソフトウェア

CLOMO MDMの概要



情報システム担当者が、従業員へ配布した
スマートフォンやタブレットを
まとめて管理・運用するためのソフトウェア

解決する課題

情報システム部門の課題	CLOMO MDMが解決
端末数が多く、利用状況の把握や管理が大変	**状態の監視** 利用状況を遠隔でリアルタイムに把握
従業員が思わぬ使い方をしてしまうトラブル	**利用ルールの適用** 組織や業務に応じた適切な機能設定・制限を一括で適用
紛失・盗難による情報漏洩への懸念	**情報漏洩対策** 緯度経度情報による探索や、遠隔ロック・データ消去が可能

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

国内MDM（自社ブランド）市場における強固なポジション

継続的に競争力の向上に取り組み、CLOMOは着実に市場シェアを拡大

国内MDM（自社ブランド）市場で15年連続シェアNo.1(1)

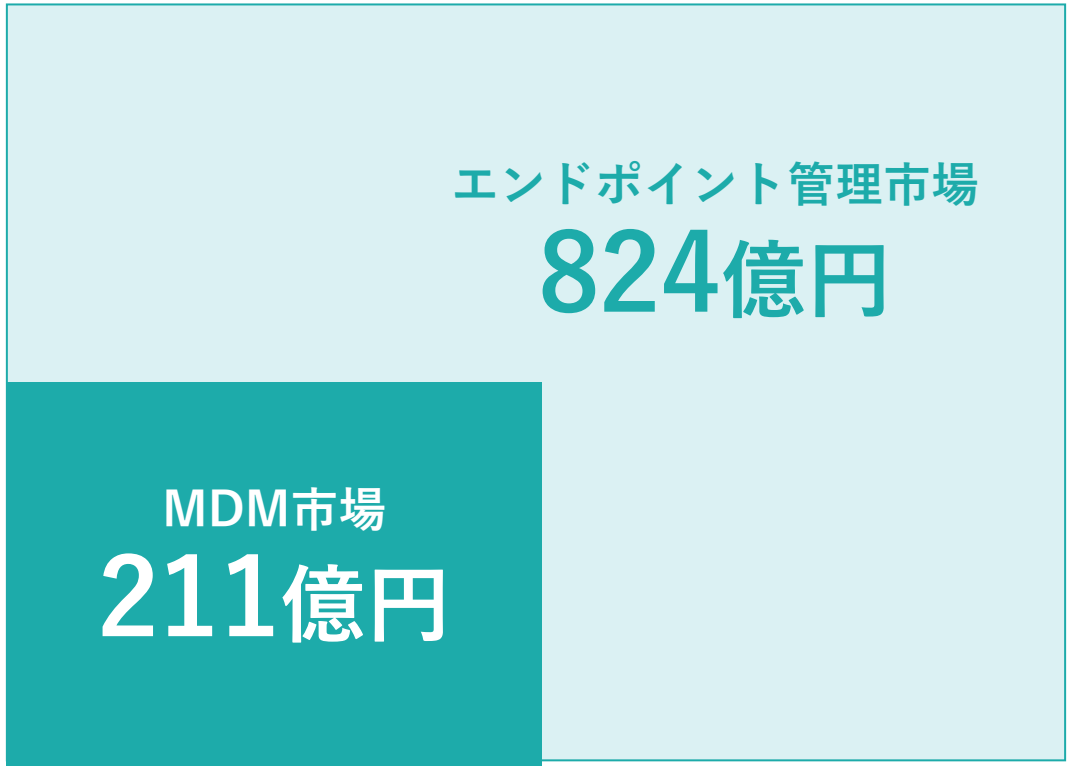


注：
1. 出典: デロイト トーマツ ミック経済研究所「コラボレーション/コンテンツ・モバイル管理パッケージソフトの市場展望(https://mic-r.co.jp/mr/00755/)」2011～2013年度出荷金額、「MDM自社ブランド市場(ミックITリポート12月号: https://mic-r.co.jp/micit/2025/)」2014～2024年度出荷金額・2025年度出荷金額予測

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

ターゲットとする市場規模の拡大

モバイル端末とPCの統合管理需要の増加を背景に、当社の事業領域はエンドポイント管理領域へ拡大しつつあり、ターゲットとする市場規模は約4倍へ拡大



事業基盤であるMDM市場

スマートフォンやタブレットなどの**モバイル端末を管理対象とするMDM市場**を中軸としてシェアを拡大し、自社ブランド出荷額では15年連続シェアNo.1

成長機会を見込むエンドポイント管理市場

企業におけるモバイル端末とPCの統合管理ニーズに応え、CLOMO MDMのPC向け機能強化や、オプションサービスの拡充に注力し、**エンドポイント管理市場へとターゲットを拡大しつつある段階**

※ MDM市場及びエンドポイント管理市場の市場規模は、2026年度の見込み額です。なお、出典元につきましては、次頁以降にそれぞれ記載しております。

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

経営方針（2027年6月期～2031年6月期）

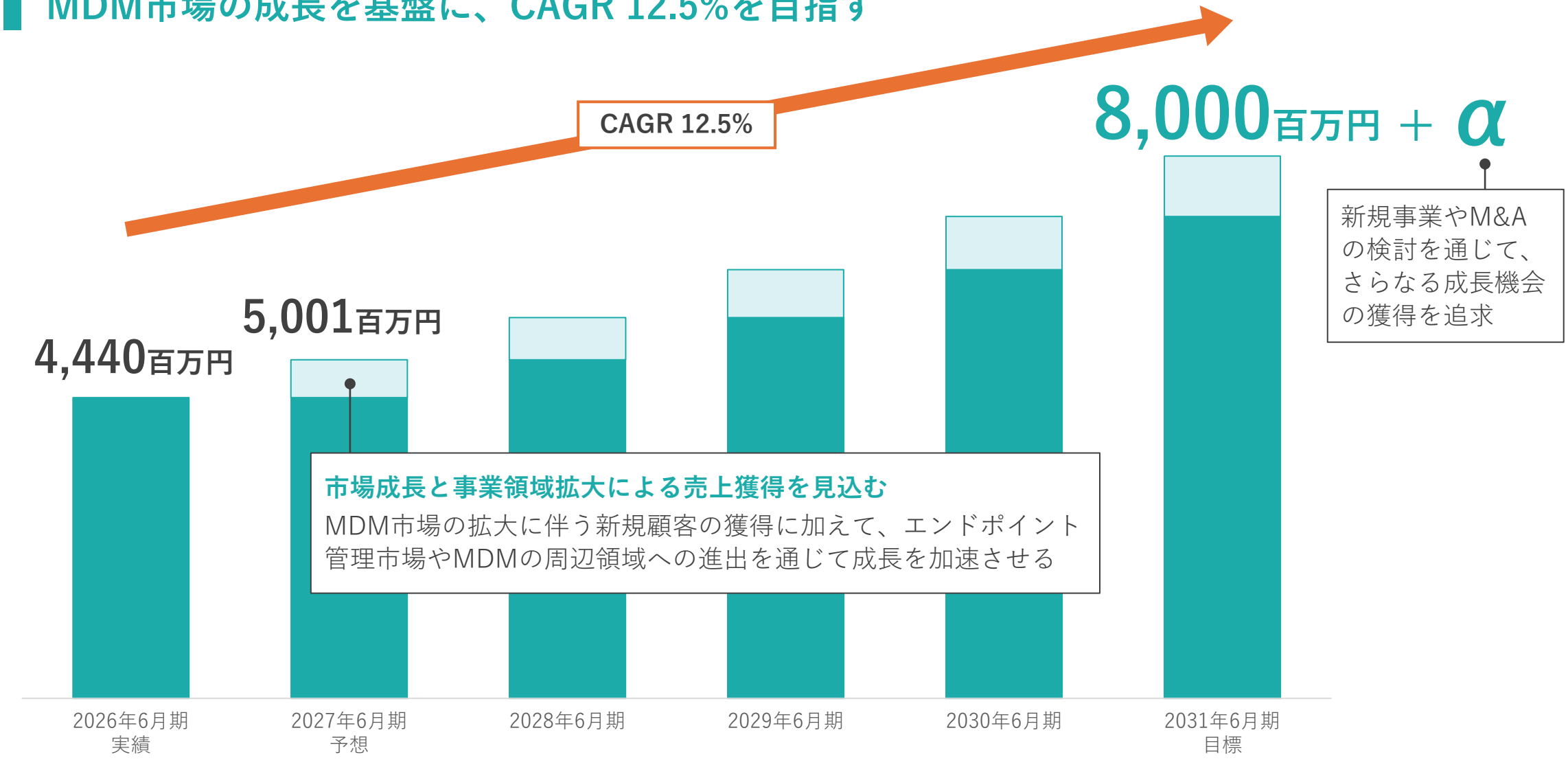
CLOMO事業の持続的な成長を基盤に、創出した利益を成長投資と株主還元へ戦略的に配分し、さらなる成長と企業価値の向上を目指す。計画期間を5年間とし、中期的な視点で成長投資を積極的に実行することで、事業領域の拡大を推進する

項目	経営方針の内容
成長目標	・2031年6月期の**連結売上高 80億円**を目指す ・周辺事業領域における新規事業開発及びM&Aにより、80億円プラスαの成長に挑戦
利益目標	・2031年6月期の**連結営業利益 16億円**を目指す ・CLOMO事業拡大に向けた成長投資を継続しつつ、生産性向上に取り組む
資本政策	・**毎期、前年同額以上の配当**を目指す ・**株主優待制度の継続・拡充**を目指す

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

CLOMO事業の持続的な成長を基盤に、さらなる事業成長を目指す

2031年6月期の連結売上高80億円を目指す5ヵ年目標を策定
MDM市場の成長を基盤に、CAGR 12.5%を目指す



Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.

本資料の取り扱いについて

■ 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されております。
これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。

■ 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されております。

■ 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しております。

■ 事業概要及び事業計画の詳細につきましては、2026年9月に公表しました「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」をご参照ください。

Copyright©2026 i Cubed Systems, Inc. All Rights Reserved.